



## エノミヤ 故・愛 宮ラサール神父の『開かれた心』に学ぶ

＝ 24回忌追悼と偲ぶ会のご案内＝

カトリック広島司教区・世界平和記念聖堂保存活用委員会

齊藤 眞仁 神父（司教総代理、同委員会委員長）

後藤 正史 神父（カトリック幟町教会 主任司祭）

広島教区のカテドラル（司教座聖堂）である世界平和記念聖堂は、1954年8月6日に献堂されました。今年で献堂59年を迎えます。この聖堂建設の推進者であったイエズス会士・愛宮ラサール神父は、原子爆弾により壊滅的な被害を受けた広島に、世界平和を祈願する場としてこの聖堂を建てました。「聖堂建設を思い立ちましたのは、単に記念のためというだけではなく、世界平和が1日も早く実現するように努力するという目的でした。」「原爆の使用禁止という事にとどまらず、戦争そのものを一切止めるよう努力するという使命が私たちに与えられている。」「戦争を避けるためには、一方的な理論によって支配された人間ではなく、霊によって支配された『新しい人間』です。その人こそが「心に永久の平和」を保っている人間なのです。」「人類の永久の平和は、このような個人の平和から出発しなければ、いつまでも世界の中の戦争が続くでしょう。ですから、世界平和のための努力が成功するためには、われわれ皆が先ず『平和の人間』にならなければならないのです。」と話されています。また、記念聖堂を建設する一方で、われわれが「平和の人間」になるための具体的な修行の方法として、坐禅の道を残されました。ここ幟町教会でも神父と坐禅に取り組まれた人が数多くおられました。いまでも東京秋川の坐禅堂「神瞑窟」を始め、ヨーロッパ各地で神父の取り組んだ「キリスト者のための坐禅」が多くの人々によって、引き継がれています。

下記の通り、追悼ミサと偲ぶ会を開催致します。この機会に、世界平和記念聖堂と愛宮ラサール神父様の「平和の心」「開かれた心」について、あらためて学びたいと思います。わたしたち広島教区は、「平和の使徒になろう」という理念のもと、教区固有のこの召命課題に取り組んでおります。私たち一人一人が『心の平和』を得て、「個人の平和」と「世界の平和」が実現するよう務めて参りましょう。

2013年6月3日

記

第1部：2013年7月6日（土）午後4時30分～午後8時

追悼坐禅会：聖心会・青木義子シスター指導（初めての方でも参加できます。）

第2部：2013年7月7日（日）

午前09時30分より、御ミサ（大聖堂）

午前11時～12時半、ビデオ上映と青木シスターによる講話（マリアホール）

※愛宮ラサール神父出演の番組「坐禅堂で平和を祈る」（新テレビ東京1984年）上映

### ◆講師紹介◆

<お名前> シスター青木義子（聖心会）

<経歴>・Northwestern 大学院卒 ・臨床心理士 ・聖心インターナショナルスクール・スクール元副校長  
・家族療法を研鑽、「心の相談室・コラソン」（東京・広尾）主宰。

（※1984年 愛宮ラサール神父の指導で、正式に坐禅をはじめ。）